

**製品名: アディポネクチン (5N3) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe06634**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000
分子量	26kDa

**抗原情報**

遺伝子名	ADIPOQ
別名	ACDC; ACRP30; Adipocyte; Adiponectin; Adiponectin precursor; Adipoq; ADIPQTL1; ADPN; APM1; GBP28; Gelatin binding protein 28;
遺伝子 ID	9370.0
SwissProt ID	Q15848
免疫原	ヒトアディポネクチンの合成ペプチド

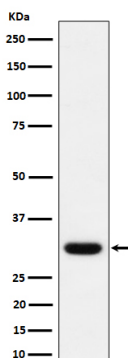
## 背景

脂肪代謝とインスリン感受性の制御に関する重要なアディポカインで、直接的な抗糖尿病、抗動脈硬化、抗炎症作用があります。肝臓と骨格筋における AMPK のリン酸化と活性化を刺激し、グルコース利用と脂肪酸燃焼を促進します。脂肪代謝とインスリン感受性の制御に関する重要なアディポカインで、直接的な抗糖尿病、抗動脈硬化、抗炎症作用があります。肝臓と骨格筋における AMPK のリン酸化と活性化を刺激し、グルコース利用と脂肪酸燃焼を促進します。肝臓やマクロファージなどのさまざまな組織における TNF- $\alpha$  の発現を負に制御することにより、またその効果を打ち消すことにより、TNF- $\alpha$  に拮抗します。cAMP 依存性経路を介して内皮細胞の NF- $\kappa$ B シグナル伝達を阻害します。複合体の種類 (LMW、MMW、HMW) に応じて、異なる結合親和性を持つさまざまな成長因子に結合して隔離することにより、細胞の成長、血管新生、組織のリモデリングに役割を果たす可能性があります。

## 研究分野

心血管系、脂質/リポタンパク質、脂肪関連、ACRP、シグナル伝達、成長因子/ホルモン、ホルモン、神経科学、神経プロセス、代謝、幹細胞、間葉系幹細胞、脂肪形成、動脈硬化、糖尿病関連、癌、癌代謝、低酸素症への反応、代謝、経路とプロセス、代謝プロセス、低酸素症、疾患の種類、糖尿病、肥満、心臓病、代謝障害

## 画像データ



ヒト血漿溶解物中のアディポネクチン発現のウエスタンブロット分析。